

松江工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	電気情報工学実験5	
科目基礎情報							
科目番号	0044			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	実験テキスト (各担当教員作成)						
担当教員	箕田 充志,衣笠 保智,飯塚 育生						
到達目標							
実験を行い、データを適切に評価、解析、考察できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		実験を行い、データを正しく評価、解析、考察できる。		実験を行い、データを評価、解析、考察できる。		実験を行い、データを評価、解析、考察できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 4							
教育方法等							
概要	電気工学に関する項目について実験実習を行い、理論と現象の双方から理解できることを目的とする。具体的には以下の実験を行う。フィルタ回路設計 (衣笠) , 論理回路 (飯塚) および放射線測定 (箕田)						
授業の進め方・方法	各テーマの担当教員の評価基準により、テーマごとの到達目標の評価を行う。すべてのテーマについてのレポートの評価を平均したものを本科目の総合評価とする。 評価基準は以下に定める。 ・レポートの書式が整い、提出されているか (3 0 %) ・得られた結果を適切に評価できるように整理するとともに、グラフ化できているか (3 0 %) ・結果について理論的に解析及び考察がなされているか (3 0 %) ・全体に丁寧な記述がなされているか (1 0 %) レポートのメ切りは、原則として各テーマの実験終了日より1週間とする。 レポート提出の遅れは、1週間につき10点の減点とする。(レポート提出は、実験主任の出席確認時のみとする。他の時間には提出出来ない。減点は10点単位で行う。提出遅れは最大60点分減点する。) すべてのレポートの提出を単位取得の条件とする。 実験実習の欠席者は、担当教員に申し出て、再実験を行ってからレポートを提出する。他人のレポートのコピーは、評価しない。 60%以上を合格とする。						
注意点	集中講義形式で行う。 レポート提出ができない場合は、不合格となります。また、不完全なレポート、提出期限を過ぎてのレポート提出により不合格となる場合もあります。レポートの評価方法を参考に、この評価基準を満足するレポートを期限内に提出することを心がけてください						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	実験班は A～C班の3班に分ける 担当: フィルタ回路設計 (担当: 福間) 論理回路設計 (担当: 飯塚)放射線測定 (担当: 箕田) 論理回路設計 (A班) フィルタ (B班) 放射線測定 (C班)				
		2週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		3週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		4週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		5週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		6週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		7週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		8週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
	4thQ	9週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		10週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		11週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		12週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		13週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		14週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		15週	実験実習 (B班) 論理回路設計 (A班) フィルタ 放射線測定 (C班)				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	電気・電子系分野【実験・実習能力】	電気・電子系【実験実習】	電圧・電流・電力などの電気諸量の測定が実践できる。	3	
				抵抗・インピーダンスの測定が実践できる。	3	
				オシロスコープを用いて実際の波形観測が実施できる。	3	
				電気・電子系の実験を安全に行うための基本知識を習得する。	3	
				キルヒホッフの法則を適用し、実験結果を考察できる。	3	
				分流・分圧の関係を適用し、実験結果を考察できる。	3	
				ブリッジ回路の平衡条件を適用し、実験結果を考察できる。	3	
				重ねの理を適用し、実験結果を考察できる。	3	
				インピーダンスの周波数特性を考慮し、実験結果を考察できる。	3	
				共振について、実験結果を考察できる。	3	
				増幅回路等(トランジスタ、オペアンプ)の動作に関する実験結果を考察できる。	3	
				論理回路の動作について実験結果を考察できる。	3	
				ダイオードの電氣的特性の測定法を習得し、その実験結果を考察できる。	3	
				トランジスタの電氣的特性の測定法を習得し、その実験結果を考察できる。	3	
ディジタルICの使用方法を習得する。	3					

評価割合

	レポート	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	0	0
専門的能力	100	100
分野横断的能力	0	0